

## 日本ゼオン各事業所

### 徳山工場

#### 徳山工場について

##### 【設立】

1965 年

##### 【主な機能・製品】

- ・ブタジエンモノマー
- ・合成ゴム
- ・合成ラテックス
- ・重合法トナー

製品の多くは海外へも輸出しており、日本ゼオンの主力合成ゴム工場としてグローバルな活動を展開しています。



徳山工場全景

#### 事業所の方針(工場長より)

##### 【方針】

生産革新を工場改革の柱とし、安定で安全な工場を実現するため、2つのグループ会社(ゼオン山口(株)およびゼオンノース(株))と協力し、地域に根差した工場として操業します。

「挨拶と3S※は全ての基本」を合言葉に、全員参加の生産革新を通じて明るく生き活きとした工場をつくります。

従業員一人ひとりが地域社会と連携し、社会的な貢献課題について積極的に取り組み、社会から信頼される工場を目指しています。



徳山工場長 林 佐知夫

##### 【具体的な取り組み】

- ・エコキャップやプルトップの収集
- ・東川の清掃ボランティア活動

※ 3S

整理(Seiri)、整頓(Seiton)、清掃(Seisou)

#### 安全への取り組み

##### 【方針】

安全第一！一人ひとりが責任をもって行動し、無事故・無災害を実現する。

##### 【具体的な取り組み】

- ・統一した4つの安全活動(危険予知、リスクアセスメント、ヒヤリハット、フールプルーフ化)を展開し、労災リスク低減を進める
- ・過去の変更管理を点検し、事故の芽を未然に摘み取る

## 環境負荷削減の取り組み

### 【方針】

- ・環境負荷低減活動の推進
- ・産業廃棄物ゼロエミッションの維持
- ・CO<sub>2</sub> 排出量の着実な低減

### 【具体的な取り組み】

#### 1. 有害化学物質排出量削減

2011 年度に排ガス浄化施設を導入し、PRTR 対象物質の排出量を安定的に抑制することが可能となりました。今後も、PRTR 対象物質の排出量を削減し、ゼロエミッション※化を目指します。

※ゼロエミッション

自然界への排出ゼロのシステムを構築する、またはそれを構築するように目指す基本的な考え方

#### 2. 産業廃棄物削減

2010 年度から埋立処分量ゼロを継続しています。

Reduce(リデュース:減らす)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再資源化)の 3R 化で、産業廃棄物のさらなる削減を目指します。

#### 3. 省資源・省エネルギー

工場に省エネワーキンググループおよび省エネ推進委員会を組織し、エネルギー使用の多い設備等の技術的課題について、中長期計画を策定し改善を推進しました。また、日常管理の徹底推進により、エネルギー原単位の 1990 年度比 90%以下達成を目標に掲げ、社員全員の知恵を結集して取り組んでいます。また、本社主催の省エネ推進部会にて各工場の取組状況の情報共有を進める中で、今後も画期的な技術の導入等、あらゆる面の検討で改善を図るべく、日夜努力しています。

#### 4. 大気への負荷削減

2014 年度に新ボイラーを稼働し、SO<sub>x</sub> および CO<sub>2</sub> の排出量を安定的に低減できるようになりました。

#### 5. 水質への負荷削減

排水処理設備の改造や処理方法の改善により、COD・全窒素排出量等は年々削減されています。

これまでの取り組みで、環境基準はクリアできており、2016 年度も引き続き、安定的な維持管理を心掛けていきます。

## 6. 環境関連データ

徳山工場		2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
有害物質	ブタジエン使用量(トン)	186,784	181,275	206,710	170,327	195,538
	ブタジエン排出量(トン)	1.4	1.2	0.8	1.1	0.7
	アクリロニトリル使用量(トン)	13,697	13,600	17,464	14,379	16,983
	アクリロニトリル排出量(トン)	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
PRTR 法対象物質	使用量(トン)	388,603	391,766	453,075	397,637	422,439
	排出量(トン)	3.1	2.7	2.0	2.7	2.1
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	18,718	16,939	19,201	24,063	23,163
	減容後発生量(トン)	3,762	3,505	3,377	4,674	4,737
	埋立処分量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大気排出	CO <sub>2</sub> 排出量(トン)	248,294	239,609	279,750	237,362	263,215
	SO <sub>x</sub> 排出量(トン)	502	322	471	507	622
	NO <sub>x</sub> 排出量(トン)	272	243	205	179.0	191
	ばいじん排出量(トン)	7.7	6	4	2.2	11
	フロン類漏えい量(トン CO <sub>2</sub> )	—	—	—	—	3.9
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m <sup>3</sup> )		9,482	8,788	8,927	8,393	8,812
排水	総排水量(千 m <sup>3</sup> )	7,884	8,288	8,165	7,785	8,051
	COD 排出量(トン)	69	58	49	42	57
	全リン排出量(トン)	0.6	0.6	0.7	0.6	0.8
	全窒素排出量(トン)	27	27	28	27	28
エネルギー	使用量(原油換算、kL)	90,955	90,648	103,000	92,423	104,326
	原単位指数(90 年度 100 とした比率)	99%	102%	99%	106%	106%
換算生産量(トン)		498,167	487,782	573,961	477,797	531,865

## 品質保証の取り組み

## 【方針】

中期経営計画 SZ-20 で描いた【2020 年のありたい姿】『-化学の力で未来を今日にする ZEON-』を実現するために、徳山工場では、継続的改善と革新的生産技術により、直行率※100%、全量保証の品質を作りこみ、お客様に満足していただける品質の製品を安定的に提供し続けられる工場を目指しています。

※ 直行率

生産ラインに投入された製品が検査に合格する比率。直行率 100%は不良品なしを意味する。

## 【具体的な取り組み】

お客様に満足していただける品質の作り込みで特に重要なことは、お客様目線になることです。「自分がお客様だったらどう思うか」をいつも問いかけることです。工場での品質改善活動ではいつもこの言葉を念頭に置いています。

## 社員とともに

## 【人材育成の狙い】

“高い目標に向かって、自ら徹底的に考え抜いて行動し、変え続けられる人材”

## 【教育の基本】

“従業員一人ひとりの能力を引き出し、育成し、活用する。”

**【具体的な取り組み】**

オペレータ基本教育 入社 3 年までのオペレーターを対象にオペレータ基本教育を実施。

**地域との共生**

**【具体的な取り組み】**

**1. ゼオン和楽踊り**

「和楽踊り」を通じ、従業員の家族や地域の方々との親交を深める、従業員手作りのお祭りです。1974 年から始まり、今では毎年 2,000 人を超える方々が参加しています。

従業員自ら焼き鳥やおでんなどを振る舞い、祭りの最後は全員が輪になって踊ります。

**2. 広報活動**

2015 年度の実績

- ・第 11 回 RC 地域説明会・工場見学会:工場に隣接する 5 自治会の会長・副会長が参加
- ・夏休み親子教室(商工会議所主催):実験教室(スーパーボールづくり)、工場見学バスツアー

徳山工場はこれからも地域住民との触れ合いを大切にするとともに、環境保護・社会福祉活動に貢献していきます。